

南九州市新庁舎建設基本・実施設計等業務
プロポーザル審査報告書

令和4年6月26日

南九州市新庁舎建設設計業務委託事業者選定委員会

1 はじめに

南九州市新庁舎建設基本・実施設計等業務委託プロポーザル実施要領等に基づき、公募により参加資格を有する事業者から提出いただいた技術提案を、南九州市新庁舎建設設計業務委託事業者選定委員会において、公平かつ厳正に審査をおこない、次のように最優秀者及び次順位者を決定しました。

2 審査結果

(1) 最優秀者

山下設計・ゲンプラン設計 業務委託共同企業体（ア者）

(2) 次順位者

安井・田代・ランドブレイン設計共同企業体（ク者）

3 審査講評

南九州市は、知覧町、川辺町、穎娃町が2007年に合併し、旧知覧町庁舎が南九州市の本庁舎として利用されてきましたが、南九州知覧重要伝統的建造物群保存地区と麓川に庁舎の敷地が隣接することから、景観的に既存庁舎を増築して中層化することが難しく、また麓川の洪水の可能性が指摘され、木佐貫原（飛行場台地）に移転新築することとなりました。合併推進債の期限である合併後15年までに事業を進める必要があり、南九州市新庁舎の設計プロポーザルが2022年4月15日に公告され、6月1日までに8者から技術提案書が提出されました。8名の審査員（学識2名、県職1名、一般市民1名、市職員4名）で、6月11日に一次審査を行いました。5者程度を選び二次審査に臨む予定でしたが、捨てがたいチーム編成の提案もあり、協議の結果、ア者からク者の8者全てにプレゼンテーションいただくこととなり、二次審査を6月26日（選定委員1名が体調不良で急遽欠席）に行いました。二次審査での内容を主に、以下に審査委員長としての講評として記しますが、8者とも各々すぐれた提案でありました。この講評では、大変僭越ですが、優劣を付けざるを得ず、敢えて厳しい表現もありますがお許しください。

ア者案は、東西軸にしたコンパクトな直方体で景観的によいかは意見の分かれる3層の庁舎計画で、CFT柱とブレースによる耐震構造によりI類の耐震性能を確保した上で付加制震構造が採用されました。外装にはセメント系等の縦ルーバーを用い、外装窓は腰付の横連窓により、コスト・維持管理・環境等に配慮した内容でした。目立った建築的提案ではありませんでしたが、二次審査での説明と質疑の応対も丁寧でわかりやすく、審査員が誠実な好印象を持ち、高い評価につながりました。県外組織事務所+県内事務所が55：45程度で業務を分担するとの説明もあり、将来の対応についても納得できる内容でした。

イ者案は寄棟屋根の二棟造りを模した2層のRC造で、1階階高を抑えるため2階スラブを逆梁とし、小屋裏に面積除外の倉庫を設ける等、いくつか他者にはない提案内容がありました。一方、県外組織事務所+県内事務所+南九州市内事務所の3社のJVで、県外組織事務所が業務の7～8割を行うとの説明があり、将来の対応に不安が残りました。

ウ者案はRC造のL型の庁舎に軽量化したヴォールト屋根を架けた計画で、建築的な提案があり、体

制的にも他に例のないチーム編成でした。茶畑の景観から発想したと思われるヴォールト屋根をL型の形状の屋根に設けたため、雨仕舞や構造面で難しい問題が生じていました。キンベル美術館のような整形な平面形の方がヴォールト屋根とは相性がよく、その方が無理なく高評価につながったのかもしれない。県外組織事務所+県外アトリエ事務所+県内事務所の3社が各3割ずつで業務を分担するとの説明があり、もう少し県内事務所の割合が高くて良いのではとの印象を持ちました。

エ者案は、敷地が旧知覧飛行場の滑走帯に位置するため、平和への思いを謳い主滑走路の軸線を屋根に表現しながら、南北軸に2層の直方体を配置した手堅い提案でした。しかし、ZEBの提案内容の一部と来庁者駐車場からのアプローチ等に疑問が残りました。コストに関しては明確な回答があり好感が持てましたが、県外組織事務所+県内事務所の設計JVで県外事務所が7割の業務を分担するとの説明があり、将来の対応に不安を残しました。

オ者案は重ね使いをコンセプトに大小の2層のRC造の正方形を雁行させ、ある意味二ツ家（ふたつや）をイメージさせたような分棟型の構成でした。水平線を強調し勾配屋根を設けていないため、ガラスの外装と合わせて現代的なイメージで好感が持てました。また、地場の高田石のストックを活用した内外装材の素晴らしい提案もありましたが、県外組織事務所+県内事務所の設計JVで県外事務所が7割の業務を分担するとの説明があり、将来の対応に不安を残しました。

カ者案は8者の中で唯一の免震構造の提案でした。L型の配置で軒の回廊等もあり果たして免震がこの形態に相応しいのか、ゆくさホールの吹抜のイメージや展望ロビー、議場等の提案が予算内におさまるのか等々に不安が残りました。業務の体制は、県外組織事務所+県内事務所+南九州市出身設計事務所の3社のJVですが、業務の分担比率等に明確な回答が得られませんでした。

キ者案は円環状の配置に屋根を架けた一部平屋のS造2層案で、8者の中では「環（わ）の庁舎」として目を引く建築的な計画で好感を持ちました。円環状の平面にもモジュールの考えを反映させて機能的にも問題ないと思われたのですが、実際に毎日使う立場からはあまり賛同が得られず、また地元産材の木ルーバー等も維持管理面から不安な声があがりました。鹿児島県内単独事務所の設計チームで、しかも30代が主担当という構成は魅力的でしたが、質疑の応答で、進め方がデザイン優先になってしまうのではとの印象を審査員の多くが持ってしまったようでした。

ク者案は南北軸に直方体の庁舎を配置し、一部平屋のS造2層案で、8者の中で唯一6,600㎡まで面積を減らした計画で、好感が持てる内容でした。しかし、「風のトレンチ」の維持管理・効果・構造の問題と執務室での自然採光があまり確保できないのではとの問題に関して不安が残りました。私は屋根が分節化された上に勾配屋根があり比較的よいイメージになるのではないかと考えていましたが、道路と並行に計画されているため、一部審査員からは「道の駅に見えないか」との意見も出されていました。体制は県外組織事務所+県内事務所+県内コンサルタント会社（まちづくり）で県外：県内の比率を50：50で進めるとの説明で好感が持てました。

プレゼンテーション、ヒアリングを終了後、各案について意見交換し、審査員7名で採点を行いました。一次審査の得点は反映せず、二次審査の採点のみで順位を決定し、ア者が最優秀、ク者が次点となりました。今回の南九州市新庁舎のプロポーザルは、来年3月には実施設計に着手するのが必至条件で、市の要望もあり、建築関係者の審査員が少ない構成で進めました。結果として、バランスが

とれ、かつプレゼンテーションとヒアリングで好印象だったア者に票が集まりました。一方、今、まさに庁舎のDXが進もうとしており、大変微妙な時期での基本設計、実施設計となります。選定されたア者におかれましては景観に配慮した柔軟な設計案をとりまとめて下さることを期待します。最後になりましたが、二次審査までご協力いただいた各者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(南九州市新庁舎建設設計業務委託事業者選定委員会 委員長 鯨坂 徹)

4 選定委員会

南九州市新庁舎建設設計業務委託事業者選定委員会設置要綱第3条に基づき次の8名をもって組織し、審査方法等の検討、決定や提案内容の審査及び順位の決定を行いました。

南九州市新庁舎建設設計業務委託事業者選定委員会

委員長 鯨坂 徹 (鹿児島大学大学院理工学研究科 教授)
 曾我 和弘 (鹿児島大学大学院理工学研究科 教授)
 副委員長 渡島 秀夫 (鹿児島県土木部建築課営繕室 室長)
 松崎 瑞喜 (令和3年度新庁舎建設検討委員会委員)
 江平 恒博 (南九州市副市長)
 別府 誠 (南九州市総務課長)
 塗木 智子 (南九州市健康増進課長)
 中野 俊裕 (南九州市都市政策課長)

5 選定スケジュール

実施内容	実施期間又は期日
第1回選定委員会	令和4年4月13日(水)
公告	令和4年4月15日(金)
実施要領等の交付	令和4年4月15日(金)～
参加表明手続に関する質問の受付	令和4年4月15日(金)～4月25日(月)
質問に対する回答(公表)	令和4年4月28日(木)
参加表明書等の受付	令和4年4月15日(金)～5月9日(月)
参加資格審査結果の通知	令和4年5月12日(木)
技術提案書等に関する質問の受付	令和4年4月15日(金)～5月9日(月)
質問に対する回答(公表)	令和4年4月28日(木), 5月12日(木)
技術提案書等の受付	令和4年5月12日(木)～6月1日(水)
第2回選定委員会 一次審査(書類審査)	令和4年6月11日(土)
一次審査結果の公表	令和4年6月14日(火)
第3回選定委員会 二次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)	令和4年6月26日(日)
二次審査結果の公表(速報)	令和4年6月27日(月)

6 参加表明及び一次審査（書類審査）

令和4年5月9日(月)の参加表明書の受付期限までに、9者からの参加表明書の提出がありました。参加資格要件を満たした8者から令和4年6月1日(水)を提出期限として技術提案書を提出していただき、令和4年6月11日(土)に開催した第2回選定委員会において一次審査（書類審査）を実施しました。

二次審査の対象者に5者程度を選定する予定でしたが、選定委員会の審査及び協議の結果、8者全てを二次審査の対象とすることとしました。

7 二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）

令和4年6月26日(日)に二次審査の対象となった8者について、提案者ごとにプレゼンテーション（10分）と選定委員（7名）によるヒアリング（20分）を公開で実施しました。公開については、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、南九州市民を優先して傍聴席を設けました。

審議については非公開として、選定委員による意見交換を実施してから、各選定委員の採点を確定し、集計を行いました。点数は、各委員の点数の平均値を取り、順位を付けました。集計結果についても意見交換を行い、順位どおりに最優秀者、次順位者としました。

○審査結果一覧

呼称	審査結果 (一次)	審査結果 (二次)	事業者名
ア者	1位	最優秀 (85.71点)	山下設計・ゲンプラン設計業務委託共同企業体
イ者	2位	5位	東畑・三島・サン設計共同企業体
ウ者	8位	8位	パシフィックコンサルタンツ・蘆田暢人建築設計事務所・ixrea 設計共同企業体
エ者	6位	7位	横河・武田共同企業体
オ者	5位	3位	内藤建築事務所・エムズ・デザイン工房共同企業体
カ者	4位	6位	梓設計・東条設計・有村和浩建築設計事務所共同企業体
キ者	7位	4位	みのだ・yAt・プランディー共同企業体
ク者	3位	次順位 (65.71点)	安井・田代・ランドブレイン設計共同企業体

最後に、各者それぞれに南九州市のことを考え、工夫を凝らし技術提案書を作成していただいたことに対しまして、心から感謝を申し上げます。